



PRESS MINSHU

2011年7月号

民主党プレス民主編集部
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1 TEL03-3595-9988(代表)
mail:press@dpj.or.jp http://www.dpj.or.jp
年間購読料:3000円(送料含む) 定価:1部 100円(消費税込み)
民主党埼玉県第13総支部 石井しんいち事務所
〒345-0802 宮代町中島237-5 TEL/FAX 0480-32-3988
http://www.ishii-shinichi.com

号外

宮代版

石井しんいち
地域の安全を守ります

石井しんいち

宮代町議会議員



活動報告 Activity Report

日頃は町政に対しましてご指導、ご協力を賜りまして
ありがとうございます。厚くお礼申し上げます。

平成23年第2回宮代町議会定例会(6月定例会)は5月25日から6月7日までの12
日間にわたり開かれました。今、議会は3月11日発生した東北地方太平洋沖地震の
復旧経費として、平成22年度震災対策補正予算(平成23年3月28日専決処分※による補
正)平成23年度一般会計補正予算、公共下水道事業特別会計補正予算等、8議案、議員
議案1件(意見書案)が提出されましたが、審議採決の結果、すべて原案どおり、承認、可決
されました。一般質問13名中7名の議員から防災関係に関する質問がありました。

※専決処分→普通地方公共団体の長において、議会の議決すべき事件について特に緊急を要するため、議会を招集する時間的
余裕がないことが明らかであると認める時は、その議決すべき事件を処分することができる。(地方自治法第179条第1項)

石井しんいち プロフィール

- ▶1968年 警視庁警察官拝命
- ▶1994年 KDDI株式会社勤務
- ▶1998年 行政書士登録
- ▶2008年 宮代町議会議員選挙初当選

宮代町議会議員/教育福祉産業委員会委員長
/議会運営委員会委員/久喜地区消防組合議
会議員/民主党埼玉県第13区総支部幹事

東北地方太平洋沖地震復旧費用に約6,500万円

▶本年3月11日発生した、東北地方太平洋沖地震により、当町で被害を受けた公共施設、道路などの復旧経費については、

平成22年度3月補正予算 (平成23年3月28日専決処分)	1,175万円
小学校施設修繕	510万円
給食センター修繕	1,150万円
公共下水道施設復旧経費	550万円

平成23年度6月補正予算	2,875万5,000円
道路、下水道施設の復旧経費	2,746万円
百間公民館敷地の塀の設置	47万3,000円
防災用備蓄品の補充	82万2,000円
その他、予算流用及び予備費など充当で対応	約2,500万円



合計約6,500万円の
復旧経費となりました

◎震災被害に係る復旧箇所については、まだ、余震が続いている状況などを鑑
みて、随時必要な場合、所要額を予算に計上して実施するとの説明がありまし
た。(本件については、石井しんいちが一般質問にて質問しております)

震災復興を早急に

◎本年3月11日発生した東北地方太平洋沖地震から早4ヶ月が経過
いたしました。震災による死者15,544人、行方不明者5,383人、
(7月9日現在警察庁まとめ)避難者約10万人を超えるという未
曽有の激甚災害となっております。

現在、国においては、政治が停滞し震災復興の道筋が見えてお

りません。被災地のことを考えると停滞している場合ではありま
せん。この国難な時、全員が一丸となって全力を上げて、日本を
いち早く復興をさせる事が使命と考えます。

宮代町においても課題が山積しております。石井しんいち
は、宮代町に住んで良かった、宮代町に住んでみたいと言われよう
な、安全で安心して暮らせる明るいまちづくりをめざして、まい
進していきます。皆様のご指導の程宜しくお願い致します。



平成23年6月議会

石井しんいち 一般質問要旨

Q 1-1 宮代町の防災対策について

- (1) 宮代町、一般家屋の耐震化率、近隣市町との比較は
- (2) 平成23年4月末時点の災害時要援護者の把握、登録状況は

A 町民生活課長

☞ 宮代町耐震化率69.4%

(1) 平成19年度に策定した「宮代町既存建築物耐震改修促進計画」によると、平成20年3月末時点で耐震化率69.4%。近隣市町はそれぞれの耐震改修促進計画策定時の状況によると、蓮田市81.6%、白岡町79.8%、杉戸町76.9%、春日部市75.9%、加須市61.5%、幸手市59.8%、久喜市（合併後の4市町合算数値）65.0%、埼玉県全体としての耐震化率は、72.7%となっている。これらと比較すると、宮代町は若干低い数値となっている。宮代町としては、これまで耐震診断や耐震補強工事の促進に積極的に取り組んできたが、今回の震災を新たな契機として、逼

迫する地震の危険性や耐震の必要性について今まで以上に町民の皆様に対する啓発活動を実施して行きたいと考えている。
※中央防災会議においては、平成27年度までに耐震化率90%目標とすることが、決定されております。

☞ 災害時要援護者登録616名（登録率39%）

(2) 平成23年4月末時点の災害時要援護者の対象者は、1,581名、登録は616名。*内訳としては・・・重度障がい者205名／75歳以上の1人暮らしの人178名／75歳以上高齢者のみ世帯115名／要介護3以上の人41名／その他登録を希望する人77名

登録率は39%となっている

Q 1-2 登録率を向上させるための施策は

A 保険健康課長

- ① 民生委員の個別訪問
- ② 広報「みやしろ」への掲載
- ③ 敬老

会でのチラシ配布など、いままで実施してきたが、今後は自主防災会組織との連携が必要である。
なお、75歳以上の人に個別通知を出すことも考えている。

Q 2 中島地区町道第148号線（新橋通り線）の拡幅4号線までの延伸に関する会議の回数、内容は。

A まちづくり建設課長

☞ 宮代町、杉戸町は県事業での実施を要望

昨年度は、杉戸県土整備事務所が事務局となり、杉戸町、宮代町の担当職員による「新橋通り線の整備に関する検討会議」を2回開催した。会議の内容は、今後この会議をどのように進めていくか、整備効果や問題点、役割分担について意見交換を行った。

① 整備効果は、新橋通り線が国道4号まで整備された場合、主要幹線道路として広域に都市間を結ぶことや、通過交通を大量に処理できる。

- ② 問題点は、計画されている区間は住宅が建ち並んでいる現状であり、用地買収に相当の時間と財源を要する。
- ③ 役割分担は宮代町、杉戸町両町とも共通の意見で、県事業での実施を要望していくとの意見。
※拡幅、延伸にむけての定期的な会議を実施するよう要望いたしました。
※そのた、通学路危険箇所交通安全対策について、質問いたしました。



中島地区町道148号線の拡幅延伸は



予算審議状況を報告する教育福祉産業委員長 石井しんいち（百間公民館）

◎次回は、11月初旬を予定しております。多数のご参加をお待ちしております。

第5回町民と議員との懇談会

▶ 5月14日（土）～5月15日（日）百間、和戸、川端公民館で開催されました。総務町民生活委員長と教育福祉産業委員長より平成23年度予算の審議状況報告がなされた。
又、懇談会の中で、参加者より以下のとおり、要望、ご意見などが多数寄せられました。一部ご紹介させていただきます。

- *「新しい村」交流人口増加のため宿泊施設を設けられたらどうか。
- *水道事業の貸借対照表、損益計算書を「みやしろ広報」に掲載してほしい。
- *議会を傍聴しやすくするための時間を設定してほしい。（例：午後5時～又は土、日の開催など）
- *町民の安全確保のため放射能測定器を購入し、測定値を公表してほしい。*（購入済み）
- *「ぐるる」の野球場の応援席（スタンド）を設置してほしい。
- *宮代台からの町道第683号線について町は要望通りやるのかどうか。